



ルームランナー（準業務用） DK-0918A

## 取扱説明書



この度は【ルームランナー（準業務用）DK-0918A】をお買い上げいただきまして、誠に有難うございます。

- ◎ 本説明書を最後までお読み頂き、内容を理解した上で組立作業や運動を行うようにして下さい。
- ◎ 本書の巻末に「保証書」がついていますので、必要事項を記載のうえ、大切に保管して下さい。
- ◎ ご不明な点がある場合その都度読み直して頂き、正しくご使用下さい。
- ◎ 本機は準業務用に開発してあります。本格的トレーニング施設でのご使用はお控えください。
- ◎ 改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合がありますので、ご了承ください。
- ◎ 計測数値等に関しましては、誤差がございますのでご了承ください。

本製品はACモーターを使用していますので、ペースメーカー等の電子機器をお使いの方はお医者さま等にご相談してからご使用になってください。

## 安全上の注意

取扱説明書の注意及び警告内容は、危険の度合いによって2段階に別れております。記載されている内容をよく理解していただき、取扱説明書に従ってご使用ください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



**警告** 誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容



**注意** 誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容



**警告**

### ☆使用上の警告

- 1) 無理をせず軽いスピードから始めて下さい。
- 2) 急激な運動は体に負担が掛かりますので、少しでも異常を感じましたら運動を中止して医者にご相談下さい。
- 2) お子様、本機で遊ばないようにして下さい。また、使用中はお子様近づかないようにして下さい。お子様、お年寄りの方が運動されるときには、必ず付添の人をつけて行って下さい。
- 3) お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方のトレーニング・リハビリ用にご使用の場合、必ずかかりつけの医師にご相談下さい。特に次のような方  
(心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカー・人口心肺装着の方)
- 4) 分解・改造は行わないで下さい。内部点検や修理の際は販売店までお申し付け下さい。
- 5) 各部の機能が正しく作動しているかどうか、またネジ・ボルト等の緩みやガタがないか、使用前に必ず点検して下さい。
- 6) 乗降する場合には、ハンドルや手すりにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品及び使用者を押ししたり、引いたりしないで下さい。運動の妨げとなったり、安全性を損ないケガをしたりする場合があります。
- 7) 同時に2人以上でご使用なさないで下さい。
- 8) AC モーターを使用しているため電子音がすることがございますので、ご了承ください。

### ☆電気器具の警告事項

- ① 使用電源については、次の事項を必ず守って下さい。
  - 電源は定格 18A 以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と共用すると器具の加熱により火災の原因となります。
  - 交流 100V 以外で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- ② 電源コードの取扱いについては、次のことを必ず注意してください。間違った取扱いをされると感電の原因になります。
  - 電源コードやプラグが傷んでいたりする時。
  - コンセントの差し込みが緩い時。
  - 電源コードの上に重いものを載せた時。
  - 電源コードを曲げたり、束ねたりした状態でご使用になった時。
  - 濡れた体でプラグ・電源コード等に触れた時。
  - 長期間ご使用にならない時。  
(安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。)
  - 中継線(延長コード)を御使用しないで下さい。  
(延長コードで中継することにより低電圧状況を引き起こし誤作動の原因となりますので、コンセントに直接電源コードを接続して下さい。)
  - 電源コードの先にはアース線が付いております、万一の漏電事故を防ぐため、接続してください。
- ③ モーター保護のため 120 分以上の連続使用はおやめ下さい。
- ④ 万一、異常な音、におい、煙が出たときには、電源を切り、電源コードを抜いて販売店もしくは当社までご連絡下さい。(最終ページの保証書欄をご参考にご連絡下さい。)



## 注意

### ☆ 使用上の注意事項

- 1) トレーニングの前後に必ずストレッチ（準備体操）を入念に行ってください。  
トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行うように習慣をつけましょう。
- 2) 食後のトレーニングはやめましょう。胃に流れる血液が、体を使うことによって胃に流れにくくなって消化に影響を与えるので、食後2時間位あけてトレーニングをして下さい。
- 3) 本機ご使用の際は、必ず運動靴を履き、回転、駆動部に巻き込まれる恐れのない紐等のない服装でご使用下さい。
- 4) 運動方法につきましては、使用方法以外での使用はおやめ下さい
- 5) 本機は軽頻度のトレーニング機（準業務用）として作られていますので、本格的にトレーニングを行う施設等でのご使用はおやめ下さい。
- 6) 異物を商品内部に入れないでください。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となります、特にお子様のおられるご家庭では注意して下さい。
- 7) **体重が110Kg以上**の方はご使用なされないようにして下さい。
- 8) サビの発生や調節不調、メーター等の故障の原因となりますので次の場所には設置、保管はしないで下さい。
  - ・直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
  - ・屋外（屋根付きのガレージ等を含む）の設備や浴室付近等の湿気の多い場所
  - ・砂ぼこり、磁気や電氣的雑音の発生しやすいものの近く
  - ・室温差が著しく変化するところや床面がコンクリートの打ちっ放しのところ\*本機の下だけにマット等を敷いている場合も含まれます。
- 9) 使用しない場合には、電源コードを抜く等作動しない状況にして頂き、特に幼児が触らない様注意して下さい。

### ☆ 保管上の注意事項

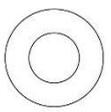
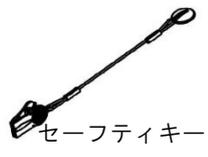
- ご使用前にはハンドル・手すり・接合部分のガタや、緩み等がないよう確認して下さい。
- 本機は使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置して下さい。
- 歩行面（ベルト）には、絶対に物を置かないで下さい。
- 本体カバー一部は樹脂製です。カバー部・ハンドルには絶対に寄りかかったり、乗らないで下さい。
- カバー類(エンド、モーター、支柱)、ハンドル部ラバー、サイドレール等の破損、本体、支柱等のへこみ、傷等に関しては、初期不良以外すべて有償になります。
- ベルトに局部的に亀裂が発生すると進展し、使用中に破損等して危険なため必ず確認してからご使用ください。ベルト類は消耗品のためご購入後3ヶ月以上経過したものは有償となります。
- 走行ベルトが偏ったときは走行ベルトの調節方法を見て調節を行ってください。
- 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、必ず整理整頓してからご使用下さい。後方には絶対物を置かないでください。
- 本機は必ず平らな場所に設置して下さい。
- 廊下やフローリングまたは畳の部屋で組立てやご使用になると、床を傷つける場合があります。必ず、布やカーペットを敷いて傷を付けないようにして下さい。
- 本機を廃棄する場合は、粗大ごみとして各自治体の方法に従って処理してください。

## 仕様

型番/DK-0918A	本体サイズ/W83×L190×H140(cm)
品名/ルームランナー(準業務用)	本体重量/94kg
材質・構造/スチールパイプ・合板ボード ウレタン・ABS樹脂	走行ベルトサイズ/W44×L133(cm)
電源/AC100V 50～60HZ	速度/1.0～18.0(km/h)
消費電力(最大)/1100W	角度調整/電動式(15段階)
モーター/ACモーター3.0馬力(最大)	簡易脈拍方式/ハンドグリップ式、チェストベルト(別途購入)
コード長/約2m	生産国/中国



## パーツ図表：

 M8×16 ボルト 12 本	 M4×16 ボルト 4 本	 M8×60 ボルト 2 本	 M8 ワッシャ 2 枚
 連結ブッシング 2 個	 セーフティキー 1 個	 電源コード 1 本	

# 組立説明

## 組立を始める前のご注意

- ※ 組み立てる前に、電源コードを絶対に接続しないで下さい。
- ※ 広い場所を確保した上で作業を始めて下さい。
- ※ 作業をする前には、部品と必要な道具が全部揃っているかを確認して下さい。
- ※ 開梱及び組み立て時は、必ず2人以上で行って下さい。
- ※ 本機を箱から出したら、必ず走行面を上にし、本体が床面と水平になるよう設置した上で組立を行ってください。
- ※ 組立時、ボルトは仮止めにして、全体が組み上がってから、スパナ（レンチ）で、強めにネジをしめてください。

## 組立方法

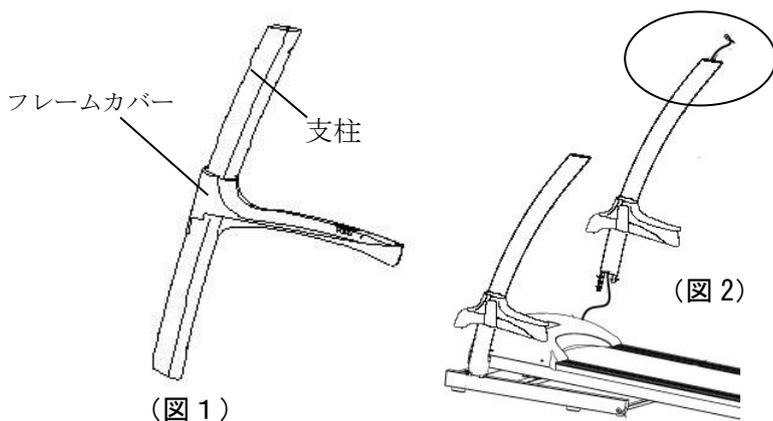
### 1. 左右支柱にフレームカバーを差し込みします。(図1)

本体右側にあるメインコードを右側支柱に通します。(図2)

(\*支柱上側から紐等を通してメインコードを結び付け、引き上げると通しやすいです。)

左右支柱を立てて本体に差込んで、M8×16mm ボルトで一旦仮止めしておきます。

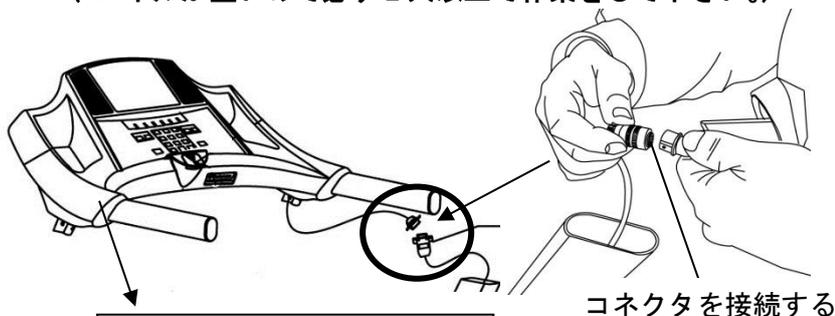
\*仮止めにしえない場合、パネルを組上げられないことがあります。



右支柱を立てるとき、メインコードを中に入れないように、テープなどで固定してから作業してください。

### 2. 右側から出ているコードをパネルから出ているコードと接続し、支柱にパネルをおさめ、すべてのM8×16mm ボルトを仮止めにし、1.で仮止めにしたボルトも含めて工具でしっかりと固定します。

(\*パネルが重いので必ず2人以上で作業をして下さい。)

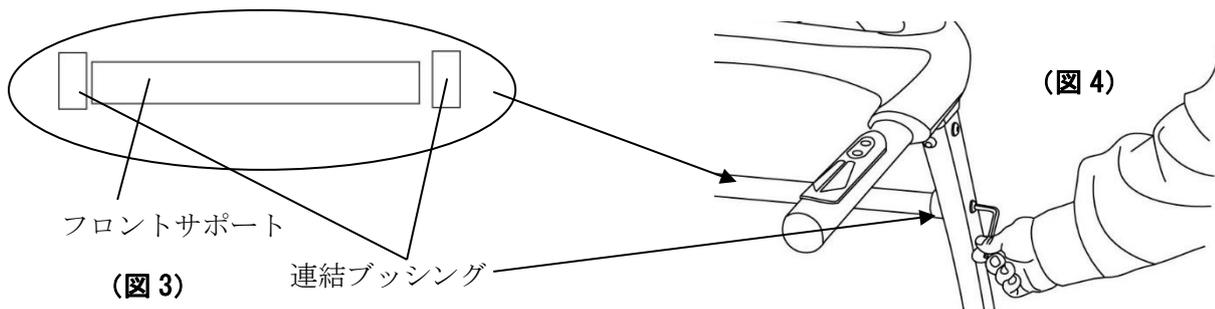


1.で仮止めにしたボルトを含めて、工具等で必ず固定してください。

パネルを組込む際にメインコードを挟んだりして傷をつけてしまうと、誤作動の原因になります。充分ご注意ください。

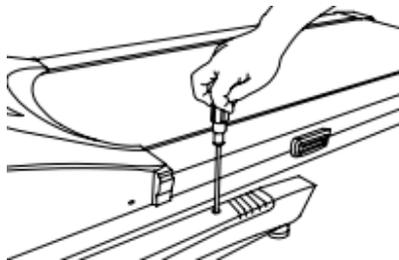
3. フロントサポートを固定します。

フロントサポートに連結ブッシングをはめて (図 3)、8×60mmボルト、M8 ワッシャで支柱に固定します。(図 4)



4. 左右フレームカバーを取りつけます。

支柱についているフレームカバーを降ろし、M4×16mmのネジで固定します。



完成図

## 起動方法 ※運動を行う際には必ず運動靴を履いてください。

- 1 周囲の安全を確認して下さい。
- 2 電源コードをコンセントに奥までしっかりと差込みます。  
(延長コード等、中継させるものを間に入れずに直接コンセントに差込んで下さい。)
- 3 電源スイッチを入れて下さい。
- 4 ベルト脇の左右サイドレール中央部に乗り、メーター中央下部にあるセーフティキーの上の凹部に重なるように磁石部を置いて下さい。
- 5 セーフティキーより伸びている紐の先端にあるクリップを衣服に付け、紐がたるみ過ぎない様結ぶなどして調節して下さい。(スピードについていけない時など紐のたるみがなくなり、セーフティキーが外れる事により、ベルトが自動的に止まり、全ての作動が停止します。)
- 6 パネルのスタートボタンを押し、走行ベルトが動いているのを確認してから走行ベルトに足をのせて運動を始めてください。

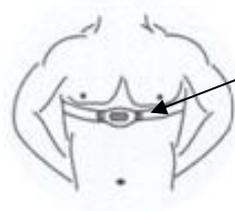


電源スイッチ ブレーカー 電源コード

※ブレーカーボタンは商品保護の為のものです。  
過剰な電流が発生時、ブレーカーボタンが自動的に電源を切ります。この場合一度電源スイッチを切り、再び入れ直して、次に、ブレーカーボタンを押して下さい。

### ●簡易心拍数表示機能

運動中、ハンドル部の心拍センサー部分を右左それぞれ握り、表示画面に心拍数が表示されます。  
チェストベルト（別途購入）を装着することにより計測できます。



チェストベルト



ハンドルのプレート部分を  
それぞれの手で握ります

### ●速度調整スイッチ

運動中にパネルの速度調整ボタン及びハンドルのボタンでスピードを調整することができます。

### ●角度調整スイッチ

運動中にパネルの角度調整ボタンで角度を調整することができます。

## 終了方法

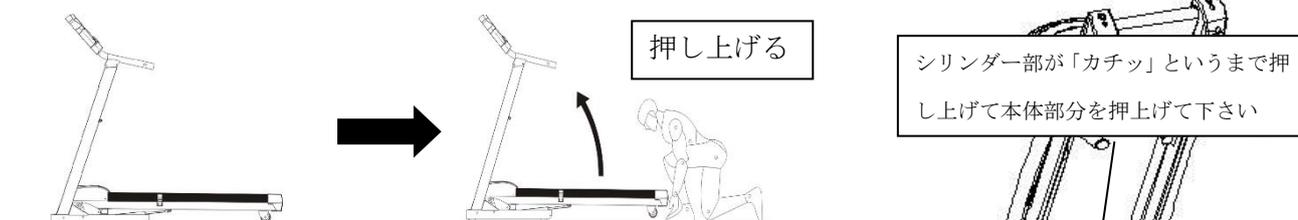
- 1 運動を終了する場合、パネルのストップボタンを押して下さい。
- 2 電源スイッチを切って、コンセントから電源コードを抜いて下さい。

## 折りたたみ方法と折りたたみ解除方法

- ・本機の折りたたみとその解除を行う際、必ず床面が平坦であり・障害物に乗り上げていないことを確認して下さい。本機の水平が保たれていない場合、突然倒れ破損や、怪我を負う恐れがあります。

### 折りたたみ方法

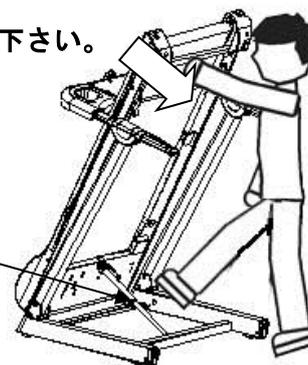
- 1 本体が平らな状態であることを確認してください。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、両手で本体の後方を支柱側へ持ち上げて下さい。
- 3 走行部分を押し上げシリンダーがまっすぐで、確実にロックされていることを確認してください。



### 折りたたみ解除方法

- 1 本体が平らな状態であることを確認してください。
  - 2 シリンダーの中心部を軽く足で押して解除します。解除した時本体を軽く手前に引いてください。(解除できない場合は本体を少し押しながら解除してください。)
  - 3 手で本体を支えながら、下までゆっくりと降ろしてください。
- \* シリンダーを強く押ししたり、蹴ったりすると破損しますので、絶対にやめて下さい。

シリンダー中心部分を軽く踏みながら、  
本体部分を手前に引いてください。



※重量がありますので、周りに危険が無いのを確認してから行ってください。

## メーターの使用方法



### ● パネルの説明

セーフティキー	運動中に外れた場合、パネルが消灯しにベルトが急激に止まります。所定の位置においてない場合にはパネルが消灯し、作動しません。
スタート	走行ベルトの作動を行います。
ストップ	走行ベルトの停止を行います。
▲・▼ (スピード)	走行ベルトの速度を上下させます。選択した目標数値を入力する。
▲・▼ (角 度)	走行部分の傾斜を上下させます。選択した目標数値を入力する。
設 定	時間・距離・カロリー内蔵プログラムの設定を行います
角度ワンタッチボタン	それぞれのボタンを押すことにより、4・8・12 (段) に走行部分を傾斜させます。
速度ワンタッチボタン	それぞれのボタンを押すことにより、走行ベルトの速度が4・8・12 (km/h) になります。
内部スピーカー接続端子	音楽プレーヤー等とオーディオコードを接続します。 (* ラジオ等スピーカー内蔵の機器を接続しないでください。)
スピーカーボタン	ボタンを押すことにより、内蔵スピーカーを ON・OFF にします。

### 表示の説明

時 間 (TIME)	0~99 : 59 まで表示
距 離 (DISTANCE)	0~99.99 km まで表示します。
カロリー (CALORIES)	0~999 Kcal を表示します。
速 度 (SPEED)	1.0~18.0km/h まで表示します。

心拍数 (HEART RATE) / 傾斜 (INCLINE) 心拍数を表示します。傾斜をかえると段階が表示されます。

(ハンドルの心拍センサーをそれぞれ手で握ったとき、チェストベルト装着時に心拍数が表示されます。)

お願い!

スタートボタンを押す前に、必ずサイドレールに足を置き、走行ベルトが動いているのを確認してから運動を始めてください。

**※パネルにセーフティキーがおいてあるかを確認してください！(パネルが点灯しないことがあります)**

すぐに運動を始めるには・・・

● スタートボタンを押して始めます！（ご購入直後はこのやり方で行ってください！）

目標等を決めずに運動を始める方、すぐに運動を始めたい方、ご購入直後本機に慣れていない方にお勧めします。

- 1 スタートボタンを押すと、走行ベルトが動き始めます。時間などがアップします。
- 2 運動中、▲・▼速度ボタンを押すことにより速度を1.0～18 km/hまで上下させる事が可能です。運動中、▲・▼角度ボタンを押すことにより速度を0～15段階まで上下させる事が可能です。
- 3 本機を停止する場合はストップボタンを押して下さい。

目標設定をして運動をするには・・・

● 目標時間設定

このプログラムは目標の時間を設定し、運動をおこないます。

- 1 「設定」ボタンを押し、「TIME（時間）」を点滅させます。
- 2 ▲・▼ボタンを押して数値を増減させ、数値を入力し、スタートボタンを押すと走行ベルトが動きだし運動が始めます。（運動中、速度、角度は任意で調整できます。）
- 3 目標数値まで達しましたら終了になります。

※ 設定時間は1分単位での設定となります。

※ 設定によっては、最大使用時間（120分）を超えてしまうことがあります、最大使用時間を厳守してください。

● 目標距離設定

- 1 「設定」ボタンを押し、「DISTANCE（距離）」を点滅させます。
- 2 ▲・▼ボタンを押して数値を増減させ、数値を入力し、スタートボタンを押すと走行ベルトが動きだし運動が始めます。（運動中、速度、角度は任意で調整できます。）
- 3 目標数値まで達しましたら終了になります。

※ 目標距離は0.1km（100m）単位での設定となります。

※ 設定によっては、最大使用時間（120分）を超えてしまうことがあります、最大使用時間を厳守してください。

● 目標カロリー設定

- 1 「設定」ボタンを押し、「CALORIES（カロリー）」を点滅させます。
- 2 ▲・▼ボタンを押して数値を増減させ、数値を入力し、スタートボタンを押すと走行ベルトが動きだし運動が始めます。（運動中、速度、角度は任意で調整できます。）
- 3 目標数値まで達しましたら終了になります。

※ 設定時間は1キロカロリーでの設定となります。

※ 設定によっては、最大使用時間（120分）を超えてしまうことがあります、最大使用時間を厳守してください。

## 内蔵プログラムで運動を行うには・・・

※内蔵プログラムで運動を行う場合には、速度や角度が急に変わりますので、十分に気をつけて運動を行ってください。

### <速度自動変化プログラム P1~P5>

1 「設定」 ボタンを数回押し、パネル右下の P1~P5 を選択します。

2 サイドレールに脚をのせ、「スタート」 ボタンを押し、走行ベルトが動いているのを確認してから運動を始めてください。

※速度の変化は距離 200mごと、10 段階で変化します。(下記図参照)

3 距離が 2000mになったら終了になります。

単位：km/h

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
P1	3.8	4.6	5.6	6.0	7.0	8.0	7.0	6.0	5.0	4.6
P2	3.8	4.8	6.0	8.0	10.0	6.0	7.0	6.0	5.0	4.8
P3	4.2	5.0	7.0	9.0	12.0	5.0	8.0	10.0	5.0	4.2
P4	5.6	7.0	8.0	7.0	5.6	6.5	7.0	10.0	8.0	5.6
P5	3.6	6.0	7.2	5.6	8.0	5.6	7.2	3.6	8.0	5.6

### <角度自動変化プログラム S1~S5>

1 「設定」 ボタンを数回押し、パネル左下の S1~S5 を選択します。

2 サイドレールに脚をのせ、「スタート」 ボタンを押し、走行ベルトが動いているのを確認してから運動を始めてください。

※速度の変化は距離 200mごと、10 段階で変化します。(下記図参照)

3 距離が 2000mになったら終了になります。

単位：段階

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
S1	1	3	1	4	3	0	1	3	5	0
S2	2	4	6	1	5	3	6	2	8	0
S3	4	0	4	6	3	0	6	10	12	0
S4	3	6	8	10	15	12	14	15	8	0
S5	10	8	12	14	10	8	12	15	10	0

## 保守・運用について

### 走行ベルトの調整

本機は走行ベルト（以下：ベルト）を前後のローラーで引き、張りを持たせることで走行をさせています。現在ご使用になっている状態で不具合がない場合には、現状で使用をお続けになってください。

もし、下記のような症状があった場合に、ベルトの調整を行うようお願いいたします。

\*注意：ベルト調整をする場合、3～5km/hの速度で調整をして下さい。その際、六角レンチで調整ネジを回しすぎると、急激にベルトが偏りベルトを破損するおそれがありますので、慎重に調整を行ってください。

使用中、足を踏み込むと止まってしまう／空滑りをしてしまう※速度を3～5km/hに設定してください。

- 1 右調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
- 3 左右の調整後、一旦、ベルトを止め、自身で走行してみて止まり/すべりがいいかを確認して下さい。
- 4 まだ、止まり/すべりがある場合には上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

### ベルトが右側の足踏みプレートにぶつかっている場合

- 1 本機を起動させスタートボタンをおし、スピードを3～5km/hまで上げて下さい。
- 2 右調整ネジに六角レンチを差込、ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。

(調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回して下さい。)

- 3 ベルトが徐々に左に寄ってきていることを確認して下さい。
- 4 まだベルトが右によっている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

### ベルトが左に寄っている場合

- 1 本機を起動させスタートボタンをおし、スピードを3～5km/hまで上げて下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込、ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。

(調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回して下さい。)

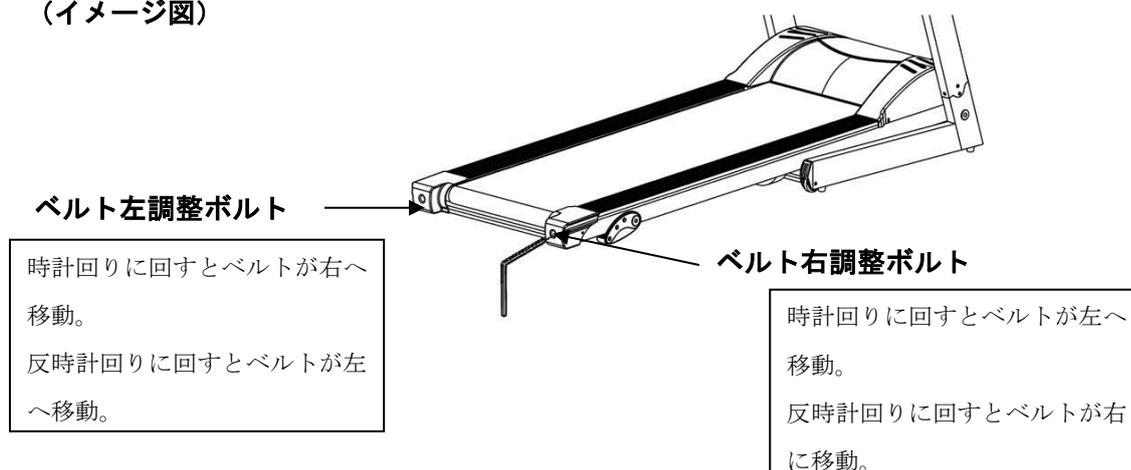
- 3 ベルトが徐々に右に寄ってきていることを確認して下さい。
- 4 まだベルトが左によっている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

### <ベルト調整の注意点>

左右の足踏みプレートにベルトが触れずに、回転をしていれば調整は完了です。

ベルトをプレートに擦ってキズをつけないように注意して行ってください。

(イメージ図)



## 潤滑剤（シリコンスプレー）のつけ方

本製品の走行板には工場出荷時に潤滑剤が塗布されていますが、ご購入後の時間経過やご使用頻度に伴いベルトの裏側や走行板上に埃が溜まる等の原因で摩擦が増大し、ベルトの消耗・モーター・モーター基盤の寿命が短くなるなどの現象がおき、本来の性能を発揮でなくなりますので、定期的に清掃と潤滑剤の噴霧が必要となります。

### 潤滑剤使用の目安

#### ご購入後の初期段階の噴霧目安

- ・ ご使用時間にかかわらず、経過に伴い工場出荷時の潤滑剤の効果が徐々に無くなってきますので、市販のシリコンスプレーをホームセンター等でご購入頂き噴霧して下さい。

#### <上記以後の噴霧目安>

- ・ 2週間以上ご使用のない場合は、運動前に走行面等のホコリを取り除いてから、必ず噴霧して下さい。
- ・ 最低でも1ヶ月に1度以上は噴霧することを心がけて下さい。
- ・ 使用頻度の高い方や、使用年数が長い方等は最低でも1週間に1度は噴霧してください。

### 潤滑剤の使用方法

ベルトの中ほどの左右どちらか片側の端をつまみ上げボード全体に噴霧して下さい。

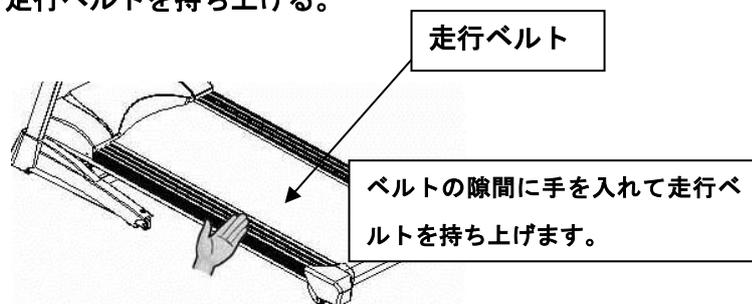
※ 注意 潤滑剤を多量に噴霧するとベルトの作動にかえって悪影響（ベルトが滑る）を与えます。

※ 注意 CRC556 等機械油を潤滑油代わりに使用しますとかえって滑りを悪くします。

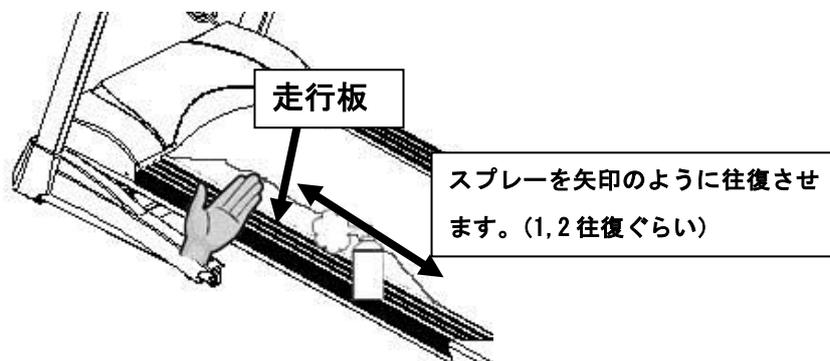
## シリコンスプレーの噴霧の方法

シリコンスプレーを噴霧するときは、走行ベルトを停止させた状態で行ってください。

### 1. 走行ベルトを持ち上げる。



### 2. 持ち上げた状態で、スプレーを走行板に噴霧します。



### 3. 反対側からも同じように行います。

\* シリコンスプレーに付属している細いノズルをつけて噴霧すると、より効果的です。

### <シリコンスプレーを噴霧するときの注意点>

- ・シリコンスプレーのつけすぎには注意してください。  
(つけすぎの場合、ベルトが空回りしてしまいます。)
- ・前後のローラーにかからないようにして下さい。
- ・走行ベルト表面には絶対にシリコンスプレーをかけないでください。
- ・シリコンスプレーを噴霧するときには、本体、溝等に溜まっているホコリを取り除いてから、噴霧するようにして下さい。

シリコンスプレーはお近くのホームセンター等でご購入してください。

### <使用時間を守ってください！>

本製品を末長くご使用していただくために、モーター保護等の観点から下記に示す使用時間を必ず守ってください。

1. 連続使用時間は**120分**までです。
2. 一日の総使用時間の限度は**6時間**までとします。
3. ご使用していいない時には、必ず、電源スイッチを切るようにして下さい。

\* シリコンスプレーを定期的にも使用することも忘れずに！ (P11 参照)

### モーターカバー内清掃方法

モーターカバー内には知らず知らずのうちにホコリ等がたまります。

モーター基盤・モーター等の保護のためにも1年に最低1回は清掃することを心がけてください。



\* コンセントを必ず外してから行ってください。

1. モーターカバーのネジをドライバーで外します。
2. 掃除機を用意し、ホコリ等を掃除してください。

\* 掃除機の手先をモーター基盤等に強く押しつけないようにして下さい。故障の原因になります。

\* 水分のあるもので清掃はしないでください。

# トラブルがおきたら

下記のような症状が起こった場合は、故障と判断される前に下記の点をお調べください。

症状	原因	処置
動かない (パネルが表示されない)	電源プラグが差し込まれていない 電源スイッチをオンにしていない セーフティキーをパネルにおいていない。 接続が確実に行われていない。	プラグをコンセントに差し込んでください。 電源スイッチをオンにしてください。 セーフティキーをパネルにおいてください。 右ハンドル内のコネクタを再度外し、接続しなおしてください。
歩行ベルトがまっすぐにならない	歩行ベルト調整をしていない。	歩行ベルト調整をしてください。
急に止まった パネルが突然消えた	セーフティキーが外れている ブレーカーボタンが飛び出している ベルトがたるんで空回りしている ベルトの摩擦が多い 静電気の可能性が考えられます (乾燥した場所等)	セーフティキーをパネルに置いてください。 操作をやめ、ブレーカーボタンを押してください。 ベルトを張りなおしてください。 シリコンスプレーを使用してください。 静電気防止スプレー等をベルトにつけたり、脈拍センサーを握らないで運動を行う(握る場合には手袋等をしてください)。
歩行中空滑りする、止まったような気がする	歩行ベルトがたるんでいる モーターベルトがたるんでいる シリコンスプレーの塗りすぎ	歩行ベルトを調整してください。 モーターベルトを調整してください。 ペーパータオル等で拭いてください。
モーターが熱くなる ※触れないくらい	長時間使用した 寒さで走行ベルトが縮んだ ベルトの摩擦が多い	120分以上操作しないでください。 ベルトをゆるめてください。 シリコンスプレーを使用してください。
本体下に粉が落ちる	走行ベルト・モーターベルトがなじんでいる 靴底のラバーがこすれている	本体の下を定期的に清掃する。
音がする	ガタツキ・キシミ音がする ローラーから音がする ベルトが擦っている	設置位置を確認し、ネジ等を締めなおしてください。 ローラー軸部分にグリース等の機械油を吹き付けてください。 歩行ベルトを調整してください。
コンセントを差し込むと火花が出る	スイッチが入っている	スイッチを切って差し込んでください。

## 保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品名	DK-0918A 大型電動ルームランナー（準業務用）
保証期間	お買い上より1年間
お買上げ日	年 月 日
お名前	
ご住所	
T E L	— —

販売店：

- (1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。
- (2) 保証期間内に故障した場合は、お買上げの販売店または輸入販売元にご依頼ください。その際には本書の有無をご連絡ください。
- (3) 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。
  - お買上げ後の移動、落下、転倒等の故障及び損傷
  - 本来の使用目的以外による故障及び損傷
  - 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変・公害・塩害等による故障及び損傷
  - 保管上の不備による故障及び損傷
  - 不当な修理、改造による故障及び損傷
  - 設置場所の床面等の損傷
  - 本保証書の添付のないもの
  - 保証書に記載されている住所から移動した場合
- (4) 使用に伴う消耗品は、無償修理交換の対象になりません。
- (5) 準業務用以外に使用された場合は、無償修理交換の対象になりません。
- (6) 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- (7) 保証期間が過ぎた後の故障については有償にて修理交換が可能です。（一定期間内のみ）
- (8) 本保証書は日本国内のみ有効です。
- (9) 本保証書は、お買上げ年月日、販売店名が記載されていないと無効です。

ただし、商品をお届けした際の配送伝票控や購入日が証明できるもの等がある場合はその限りではありません。

\* 出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

輸入販売元 大広株式会社

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜 3-41-4 旭光ビル 2F

TEL : 03-5652-5056 FAX : 03-5652-5078

フリーダイヤル : 0120-25-1622

受付 平日AM10:00~PM5:00 土・日・祝日 休